

(一社)日本家政学会中国・四国支部「令和6年度 優秀研究発表賞」の決定について

令和6年10月9日

一般社団法人日本家政学会中国・四国支部

優秀研究発表賞 選考委員長 山下広美

令和3年度より、(一社)日本家政学会中国・四国支部では、家政学に関する研究のますますの活性化や人材育成を目的に「**優秀研究発表賞**」を設けました。

今回、第70回 中国・四国支部大会（香川大会）の参加者から投票いただき、本支部大会において研究発表をされた本支部会員より次の3名の優秀研究発表者を選出いたしました。

(一社)日本家政学会中国・四国支部 優秀研究発表賞の授賞内規に基づき、選考委員会の議を経て常任理事会に報告し授与することを決定いたしました。受賞者には、賞状と副賞を贈呈します。受賞者の益々の研究の御発展を祈念しております。

岡山県立大学大学院 今田桜 氏

研究発表の題目

『フルーツパプリカのビタミンC含有量の周年変動及び
調理操作による変動に関する研究』

島根大学大学院 熊谷早恵 氏

研究発表の題目

『タンニン酸による牛乳溶液の粘度変化と乳タンパク質の検討』

広島大学大学院 宮川駿 氏

研究発表の題目

『家庭科教育における感性の捉えに関する研究
—各教科等の高等学校学習指導要領の分析と家庭科カリキュラムの検討—』